

# 学校、家庭、地域が連携した「子供と地域が輝く」体験活動

## 京都府南丹市

### 活動名

富本小学校・わくわくサタデー

### 関係する学校

南丹市立富本小学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
		1人	62人	24年度	有
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
放課後子供教室		コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール		指定日	委員数	児童生徒数	学級数

### 活動の概要

- ・富本小学校は、平成24・25年度「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」の指定を受け、全教科・全領域において学校・家庭・地域社会の連携協働に取り組むこととなった。
- ・そこで、少子化が進む中、学校での学習活動に加えて、豊かな人間形成のために児童のより豊かな学びや体験を重視し、「生きる力」を育成するため、平成24年度に学校と連携して「土曜活用」推進協議会を立ち上げ、地域人材や活動団体等の協力を得て、様々な取組を進めることとした。
- ・地域の方々との体験活動を通して、児童の社会性や周りと繋がる力が向上するとともに、家庭での親子の会話が増え、家庭の教育力の向上にもつながっている。
- ・本校は、近隣2小学校との再編に向けた取組も展開しているが、地域の方々も「学校を支援したい」という思いが強く、ボランティアも口コミで広がるなど、地域の結びつきの強化にもつながっている。
- ・土曜日に学力向上に視点を充てた活動・行事を行うことで、児童の学習意欲が向上するとともに、従来平日に行っていた行事等の時間を教科指導にあてることができ、学校の実態に応じて、振り返りや繰り返し学習等の基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる時間や思考力・判断力・表現力をはぐくむ時間、主体的に学習に取り組む態度を養う時間等、学力向上に向けた創意工夫ある教育課程を推進しやすくなっている。

## ● 特徴

### 【特徴的な活動内容】

- ・地域の指導者やサークルを招聘して、地域に根ざしたもの、身近で役に立つもの、周りの人と楽しめるものを中心に、児童の興味・関心を高められる体験活動を行っている。
  - 三味線、茶道・正月飾り(郷土の文化を継承するもの)
  - グランドゴルフ・ヒップホップダンス・料理教室(親子で楽しめるもの、体力テストやタイムトライアルへの意欲や、技術の向上につながるもの)
- ・保護者や地域の方等、幅広い参加者の中で行う学習発表会
  - 「ときめき広場」・・・各学年の学習発表会、中学校教諭の専門的な指導による全校合唱
  - 「授業公開」・・・児童の自己肯定感やコミュニケーションの育成にむけた授業

### 【実施に当たっての工夫】

- ・活動の案内チラシ配付時に、児童が関心を持つように時間をかけて丁寧に説明している。
- ・内容が毎回重ならないようにメニューと班編制を工夫している。
- ・低学年児童も含めて、全校児童が参加できる内容を選択している。
- ・中学校の指導者による専門的な活動など、小中連携も含めて地域総がかりの取組を進めている。



生け花教室

## ● 事業を実施して

- ・児童の学習意欲が向上し、他の児童とともに高まろうという姿勢が強まり、平日の授業も活性化している。
- ・教育課程外で実施している場合でも、児童の7割程度が参加し、事業への関心の高さが見られる。学校や教室では体験できない内容が多く、児童からは「もっと、いろいろやってみたい」という声が多く聞かれる。
- ・児童と地域の方々(講師やボランティア)との交流が深められ、校外でのあいさつや会話が増えた。



書道パフォーマンス

## ● その他

- ・学校の再編のため、次年度以降の取組は、さらに広域化し、内容も多彩になることが予想される。